

1. 委員の候補者を推薦する者(法人又は団体の場合)に関する事項

No	推薦区域	氏名	年齢	性別	職業	委員の候補者として推薦を受ける者				推薦する者(法人又は団体)		推薦理由
						経歴	農業経営の状況	認定農業者か否かの別	農地利用最適化推進委員への推薦又は応募状況	名称	構成員	
1	東部地域	鈴木 陽	75	男	農業	昭和50年～令和6年2月～ 就農 農地利用最適化推進委員	水田 32,000㎡ 畑 1,000㎡	非該当	無	合資会社 愛宕ふぁ～む	9	鈴木陽君は、JA名取岩沼下野郷下実行組合長として永年地域農業に取り組んできました。現在、下野下町内会長として地域の信頼も厚く、農地利用最適化推進委員にふさわしいので推薦します。

2. 委員の候補者に応募した者に関する事項

No	応募区域	氏名	年齢	性別	職業	委員の候補者に応募した者				応募の理由		
						経歴	農業経営の状況	認定農業者か否かの別	農地利用最適化推進委員への推薦又は応募状況			
1	西部区域	齋 明美	73	男	農業	昭和46年3月～昭和48年4月 昭和53年4月～平成21年4月 平成25年3月～令和3年2月～ 就農 岩沼市役所採用 農政課長及び農業委員会事務局長 岩沼市退職 農地利用最適化推進委員	水稲16,634㎡ 果樹(イチジク)1,300㎡ 畑700㎡(ジャガイモ、玉ねぎ、長ネギ等)	非該当	無	この度の委員任期満了に伴い、これまで9年間の経験と実績及び地域農業者との関わりもあることに加えて、地域農地を状況把握していることから、委員活動の下地は十分であると自負しております。ついては、農地利用最適化推進委員の主な業務である①耕作放棄地の発生防止②担い手への農地集積③新規参入者の促進を重点に活動し精一杯努力するべくここに応募するものです。		
2	西部区域	渡邊 政夫	65	男	農業	昭和53年3月～昭和53年4月 平成30年～令和6年2月～ 宮城県農業高等学校卒業 就農 農事組合法人玉崎 理事 農地利用最適化推進委員	水稲7,800㎡	該当(認定農業者に準ずる者)	無	地域に増えつつある遊休地の活用について取り組みたい。		
3	東部区域	田村 祐喜	47	男	会社員	平成30年10月～令和6年2月～ 農事組合法人林ライスに勤務 農地利用最適化推進委員	(法人) 水稲 700,000㎡ 大豆 150,000㎡ 野菜 20,000㎡ (全てオペレーター)	非該当	無	私は実家が農家であり、震災以降、地区の農業法人に就職いたしました。岩沼の農業の現状は、ほぼ法人組合等になっております。そのため、若い人も居るには居るのですが、やはり高齢化が課題ではないかと思います。私が応募した理由に、この現状に対して少しでも力になればたら、また、上の年の方々に教をいただけたらと思い応募しました。		
4	中央区域	猪股 義広	62	男	農業	昭和58年3月～平成27年6月～令和2年4月～令和3年2月～令和6年4月～令和7年4月～ 宮城県立白石工業高校卒業 宮城農業共済組合南の町地区共済部長・損害評価委員 就農 農地利用最適化推進委員 南の町実行組合長 武隈資源保全会会長	水稲 9,400㎡	非該当	無	父のアドバイスのもと、水稲をメインに苗作りからもみすり作業まで行い、JAに出荷しています。小規模農家ですので、近い状況の方々の相談にのり、力になればたらと思います。		
5	西部地域	長田 幸浩	66	男	農業	昭和53年4月～平成31年3月 令和 3年2月～令和 5年3月 設立 農地所有適格法人・株式会社吟のいろは 農業経営開始 宮城県第二工業高校電気科卒業 岩沼市農業委員 農地所有適格法人・株式会社吟のいろは	水稲種子生産 150,000㎡	該当	無	①積極果敢な岩沼市農業を実現するため、現状の「地域計画」の見直しを進めたい。 ②農業の若い担い手が大幅に不足しているため、新規就農者の定着支援を図りたい。 ③市内農業に散見される耕作放棄地の再生を積極的に推進したい。		